

災害訓練の報告



11月21日～22日にかけ、近畿ブロックDMAT訓練と合同で2025年度病院防災訓練を実施し、計109名の職員が参加しました。医師・看護師・コメディカル・事務部門など多職種が参加し、各部門では他医療機関からの患者受け入れを想定した病床拡張BCPの運用を確認しました。

今回の訓練では、花折断層地震（マグニチュード7.5）を想定し、本部機能の強化と機関連携の充実を目的に、京都府・京都市・DMATとの情報共有体制、救護所設置、指揮所運営、域外からの傷病者受け入れ調整など、災害初動から実働ま

での一連の流れを検証しました。

22日の実働訓練では、山城南医療圏からの重症・中等症合わせて70名の受け入れを想定し、BCPに基づく病床拡張や多部門協働の実践性を確認しました。一方で、急性期から入院へ移行する際の記録手順や入院後の傷病者対応が訓練範囲に含まれなかった点は反省事項であり、今後は入院調整や医療記録整備を含めた、より実効性の高い災害医療体制の構築が求められます。

災害対策委員 村田智春



災害訓練の様子

京都山城総合医療センター

やましろタイムズ
Yamashiro Times



第75号

令和8年冬

2026

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

皆様には平素より当医療センターの運営にご協力、ご支援をいただきまして誠にありがとうございます。本年も皆様にとって、良い年となりますことを心よりお祈りいたします。

さて、本年の干支（えと）は「丙午（ひのえうま）」です。

紀元前13世紀ごろ、文字が初めて生まれた殷（商）王朝で十干十二支（干支）が登場し、王様の日々を十の干と十二の支を組みわせた「六十」の周期に陰陽五行を組み合わせて占つたのが始まりのようです。日本へは5世紀に伝わり、暦として脈々と受け継がれています。「ひのえ」とは「火（ひ）」「兄（え）」で、「兄（え）」とは「陽」を表し、陽の火で、燃え盛る激しい炎の運気を表します。十二支の動物イメージが定着したのは紀元前1世紀ごろの前漢です。陰陽五行では、「うま」は「陽支」の「火」を表し、これも燃え盛る激しい炎の運気なのです。「丙午」とは60年に一回、「陽の火」が重なる最も激しく、力溢れる「強い運気の年」です。

ところが、日本では、江戸時代の町に放火する八百屋お七の物語から「丙午」の女性は気性が激しすぎるという「負」のイメージが定着したようです。そのためか、60年前の1966年の「丙午」には出生率が25%も低下したほどですが、社会の変化とともに「負」のイメージは薄れているように思います。

当院は、この「丙午」の「強い運気」を追い風に、病院を取り巻く「厳しい環境」に立ち向かい、地域住民のために高度で高質な医療を維持し、馬に例えるなら「道産子」のように大きく力強い安心感のある医療センターとして発展して参りたいと思います。本年も、どうか皆様の「熱い」応援をいただけますようお願い申し上げます。



京都山城総合医療センター
院長 山口 明浩



ご寄付のお願い

平素は当院の運営および地域医療に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

京都山城総合医療センターは、地域の中核病院として質の高い医療を提供し、皆さまの健康を支えることを使命として、職員一同取り組んでおります。救急医療や小児・周産期医療、がん医療や老年医療など、幅広い分野で安心して受診できる環境整備に力を注いでいます。

その医療環境を維持し、さらには向上させていくためには、常に医療機器や医療備品の更新・整備が欠かせません。しかしながら近年、医療

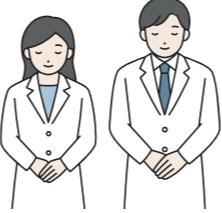
機器・材料費や光熱水費が大幅に高騰し、診療報酬では賄いきれない厳しい経営状況が続いているです。

そこで当院では、今後も高い水準の医療を持続的に提供するため、ご寄付をお願いすることといたしました。お寄せいただいたご支援は、医療機器など、当院にとって優先度が高い設備整備に大切に活用させていただきます。皆さまの温かいご支援が、地域医療の未来を支える力となります。これまでにも増してご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

京都山城総合医療センター 院長 山口 明浩

多機能車椅子をご寄贈いただきました

このたび株式会社福丸様より、医療介助用多機能車椅子一台をご寄贈いただきました。いただいた車椅子は、患者様の看護・リハビリテーション等において大切に活用させていただきます。温かいご支援に、職員一同、心より感謝申し上げます。



寄付についてのご連絡先

京都山城総合医療センター事務局
総務担当まで

080-2409-6549

木津川市
兜台地区で

出張講座を開催しました

11月1日(土)、木津川市兜台地区の住民の方々を対象に出張講座を開催しました。

60名以上の方にご参加いただき、会場を埋め尽くす程の参加人数で、関心の高さがうかがえました。

講座では、当院の大島脳神経内科部長が認知症について講演させていただきました。講演の中では、実際に認知症の鑑別診断で用いる検査の一部も体験していただきました。その他、相楽薬剤師会の先生からは認知症の症状を和らげるお薬について、山城歯科医師会の先生からはオーラルフレイル(お口の衰え)を予防して健康寿命を増進する方法についてそれぞれ講演いただきました。



参加された住民の方からは自分だけでなく、家族や、友人に伝えることで地域が元気になる内容でとてもよかったですとご好評をいただきました。

今後も、地域住民を対象にした出張講座を継続していく予定をしております。お住まいの地域で開催する際には是非ご参加ください。

令和7年度
第2回

事前申込不要 参加無料

糖尿病教室開催のお知らせ



日時 令和8年2月6日(金)
午後2時～3時30分

会場 当院9階会議室

- 内容
- 01. 医師による講演
「糖尿病の『見えない合併症』を防ぐ
～糖尿病性神経障害のメカニズムと対策～」
 - 02. 理学療法士による講演
「今日からできる！」運動のススメ
 - 03. 専門職による相談

問い合わせ先

地域医療連携室(南出・辰本)

0774-72-0235(代表)

登録医紹介

当院では、地域のかかりつけ医との連携診療をすすめています。

「登録医」制度にご協力頂いている地域の医療機関を順番にご紹介させて頂きます。

小出医院 木津川市 診療科: 内科 院長: 小出亨先生

医師: 小出操子先生

診察時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00 (受付 9:00～11:30)	○	○	○	-	○	○	-
18:00～20:00 (受付 18:00～19:30)	○	-	○	-	○	-	-

休診日: 火曜日午後・木曜日・土曜日午後・日曜日・祝日

木津川市兜台で内科を開業しています小出です。糖尿病の患者様が多いですが、急性から慢性まで、内科一般を中心に気になることがあればぜひご相談ください。患者さんとの対話を大切にして診療を進めていきたいと考えています。

〒619-0216 京都府木津川市兜台7丁目5-9
TEL: (0774)72-9090

松尾クリニック 木津川市 診療科: 内科・消化器科・放射線科 院長: 松尾尚樹先生

診察時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	-	○	○	-
17:00～19:00	-	○	○	-	○	-	-

休診日: 月曜日午後・木曜日・土曜日午後・日曜日・祝日

地域の医療のため、かかりつけ医として診療を続けております。
気になることがあれば、お気軽にご相談下さい。

〒619-0216 京都府木津川市州見台5丁目21-4
TEL: (0774)75-2259

たまみず香川医院 井手町 診療科: 内科・外科・小児科 院長: 香川力先生

診察時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00 (受付 8:45～11:30)	○	○	○	○	○	○	-
17:30～19:30 (受付 17:15～19:15)	○	○	-	-	○	-	-

休診日: 水曜日午後・木曜日午後・土曜日午後・日曜日・祝日

井手町の地で、祖父・叔父の代から岡林医院として地域医療に取り組んでまいりました。令和7年7月より、「たまみず香川医院」へ引き継いでまいります。今まで同様、診療所で出来ることを最大限に活かして、患者さん目線で医療を行っていきたいと考えております。京都山城総合医療センターとの診療所・病院間のシームレスな連携により、より安心して通院いただけるよう心掛けます。

〒610-0302 京都府綾喜郡井手町井手里2-1
TEL: (0774)82-5550